



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月8日

上場会社名 ナカバヤシ株式会社

上場取引所 東

コード番号 7987 URL <https://www.nakabayashi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 中林 一良

問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員管理統括本部長 (氏名) 長井 俊介 TEL 06-6943-5555

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：無

決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	14,235	1.0	555	479.9	672	154.4	587	288.6
2025年3月期第1四半期	14,092	1.0	95	—	264	—	151	—

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 399百万円 (86.5%) 2025年3月期第1四半期 214百万円 (82.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	21.38	—
2025年3月期第1四半期	5.51	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	55,223	29,447	52.2
2025年3月期	56,584	29,377	50.8

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 28,799百万円 2025年3月期 28,718百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	10.00	—	12.00	22.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	10.00	—	12.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	29,500	1.2	500	11.6	640	9.3	320	△10.1	11.65
通期	63,500	1.2	2,540	42.1	3,175	43.4	1,800	△9.8	65.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：有

新規 一社 (社名) 一、除外 1社 (社名) 寧波仲林文化用品有限公司

(注) 連結子会社の寧波仲林文化用品有限公司は、2025年6月3日をもって清算終了したため、連結の範囲から除いております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期1Q	28,794,294株	2025年3月期	28,794,294株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	1,329,053株	2025年3月期	1,329,004株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期1Q	27,465,266株	2025年3月期1Q	27,436,517株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等へのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。なお、業績予想の前提となる仮定及び業績予想に関する注意事項等につきましては、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や設備投資の堅調な推移、インバウンド効果の回復もあり緩やかな景気の回復が続いていく一方、米国の通商政策の影響、ウクライナや中東などの地政学リスクの高まりおよび為替変動による影響等により、景気の先行きは不透明な状況が継続しております。

当社グループを取り巻く状況は、ライフスタイルや企業活動が大きく変化したことに対応する必要があり、当社グループのパーパス「It's for SMILE」の理念に基づき、人生100年時代に相応しい価値ある商品とサービスの創出で企業価値向上に努めております。

このような中、当社グループは第4次中期経営計画（2024年4月1日～2027年3月31日）「Go on 5ing」（ゴー・オン・ゴーイング）を2024年5月に策定しました。本計画では「収益力の強化」「成長力の推進」「株主価値の向上」の3つの基本方針のもと、DXの推進、消費潮流の変化を捉えた製品サービスの創出、経営資源の最適配分に取り組むことで計画の達成を目指しております。特にDX推進においては、各セグメントの既存事業にデジタルを融合させることで新たな受注につなげるなど、具体的なシナジー効果が現れ始めています。

当社グループにおける当第1四半期連結累計期間の売上高は142億35百万円となりました。前年度に引き続き採算性や利益率を考慮した受注を図るとともに、経費削減に努めたことや価格改定効果も寄与し、営業利益は5億55百万円、経常利益は6億72百万円となりました。

この結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億87百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における当社グループの経営成績は下記のとおりであります。

売上高	142億35百万円	(前年同四半期比 1.0%増)
営業利益	5億55百万円	(前年同四半期比 479.9%増)
経常利益	6億72百万円	(前年同四半期比 154.4%増)
親会社株主に帰属する四半期純利益	5億87百万円	(前年同四半期比 288.6%増)

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① ビジネスプロセスソリューション事業

BPOサービスにおいては、入札競争の激化により受注金額の減少が見られましたが、それを補う大型の案件や安定的な新規案件の受託により、全体として増収・増益を確保しました。また、採算性を重視した案件の選別およびシステム開発の内製化が奏功し、収益性の向上に寄与しました。

手帳や封筒、一般印刷物については、クリエイティブ性の高い高粗利商材の受注が進み、売上・利益ともに増加しました。

シール・ラベル関連では、医療向けを中心としたラベルの販売の増加に加え、価格改定・内製化・生産性向上等により利益率が改善し、好調を維持しております。

図書館ソリューションでは、図書館運営受託に加え、施設改修に伴う書架移動支援など専門性の高い案件の獲得が進み、売上・利益ともに増加しました。

卒業アルバム関連においては、前年度に実施した製造部門統合の成果が現れ原価率が改善しました。

この結果、当事業の売上高は69億62百万円（前年同四半期比1.4%増）、営業利益は2億2百万円（前年同四半期比244.4%増）となりました。

② コンシューマーコミュニケーション事業

製品販売においては、大口OEM受注の拡大に加え、防犯防災用品は特需の反動が落ち着いた一方、ECチャネルでの販売が堅調に推移しました。ガジェット周辺用品では、価格改定・リニューアルにより、利益率が改善しました。

シュレツダ販売は、買い替え需要の一巡およびペーパーレス化により依然厳しい状況ですが、機密文書回収ボックスは回復傾向にあり、大型機種フルサポート保守サービス等により、今後の収益強化が期待されます。

EC関連は、サイト運営の効率化を通じて収益性が向上しました。オフィス家具分野では、施策によるリピート率・客単価の向上、コスト削減および広告費の最適化により、売上・利益ともに拡大しました。ナカバヤシ製自社製品のEC展開も順調に成長しております。

ぬいぐるみビジネスにおいては、従来の香港・中国に加えて欧米・東南アジア・中近東への販路拡大を推進しております。

この結果、当事業の売上高は69億54百万円（前年同四半期比1.3%増）、営業利益は4億35百万円（前年同四半期比165.5%増）となりました。

③エネルギー事業

木質バイオマス発電は、木質チップの在庫状況を踏まえた出力調整を行いつつ稼働しております。太陽光発電は順調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は2億97百万円（前年同四半期比13.0%減）、営業損失は25百万円（前年同四半期営業損失11百万円）となりました。

④その他

野菜プラント事業及びにんにくファーム事業等であり、当事業の売上高は20百万円（前年同四半期比22.9%増）、営業利益は7百万円（前年同四半期営業損失13百万円）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

[資産]

流動資産は、前連結会計年度末に比べて12億40百万円減少し、285億48百万円となりました。これは商品及び製品が5億49百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が20億60百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1億20百万円減少し、266億74百万円となりました。これは投資有価証券が94百万円増加しましたが、建設仮勘定が1億15百万円、建物及び構築物が44百万円、繰延税金資産が40百万円それぞれ減少したことなどによります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末に比べて13億61百万円減少し、552億23百万円となりました。

[負債]

流動負債は、前連結会計年度末に比べて6億43百万円減少し、151億85百万円となりました。これは短期借入金が3億95百万円、賞与引当金が3億10百万円それぞれ減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて7億87百万円減少し、105億90百万円となりました。これは長期借入金が8億55百万円減少したことなどによります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて14億31百万円減少し、257億75百万円となりました。

[純資産]

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて69百万円増加し、294億47百万円となりました。これは利益剰余金が2億57百万円増加しましたが、為替換算調整勘定が1億83百万円減少したことなどによります。

この結果、自己資本比率は52.2%となり、前連結会計年度末に比べて1.4ポイント上昇いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月9日発表時の業績予想の修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,739	7,751
受取手形及び売掛金	10,306	8,245
商品及び製品	6,625	7,174
仕掛品	993	1,397
原材料及び貯蔵品	1,853	1,960
その他	2,271	2,018
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	29,789	28,548
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,086	7,042
機械装置及び運搬具（純額）	4,098	4,069
土地	9,196	9,196
建設仮勘定	138	23
その他（純額）	198	203
有形固定資産合計	20,719	20,535
無形固定資産		
その他	249	243
無形固定資産合計	249	243
投資その他の資産		
投資有価証券	3,081	3,175
退職給付に係る資産	1,653	1,671
繰延税金資産	298	257
その他	800	797
貸倒引当金	△6	△6
投資その他の資産合計	5,826	5,895
固定資産合計	26,795	26,674
資産合計	56,584	55,223

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,299	4,049
短期借入金	5,308	4,913
未払金	2,672	2,554
未払費用	417	414
未払法人税等	400	156
賞与引当金	669	359
その他	2,060	2,736
流動負債合計	15,829	15,185
固定負債		
長期借入金	8,270	7,414
退職給付に係る負債	2,784	2,776
繰延税金負債	50	133
その他	272	265
固定負債合計	11,377	10,590
負債合計	27,206	25,775
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,666	6,666
資本剰余金	8,944	8,944
利益剰余金	12,068	12,326
自己株式	△676	△676
株主資本合計	27,003	27,260
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,067	1,131
繰延ヘッジ損益	△44	△96
為替換算調整勘定	219	36
退職給付に係る調整累計額	472	467
その他の包括利益累計額合計	1,714	1,538
非支配株主持分	659	648
純資産合計	29,377	29,447
負債純資産合計	56,584	55,223

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	14,092	14,235
売上原価	10,561	10,421
売上総利益	3,531	3,813
販売費及び一般管理費	3,435	3,258
営業利益	95	555
営業外収益		
受取賃貸料	43	38
受取配当金	53	49
受取保険金	54	45
その他	53	38
営業外収益合計	205	172
営業外費用		
支払利息	21	26
貸与資産諸費用	9	9
その他	6	20
営業外費用合計	37	55
経常利益	264	672
特別利益		
固定資産売却益	0	37
為替換算調整勘定取崩益	—	174
特別利益合計	0	211
特別損失		
固定資産処分損	0	0
投資有価証券売却損	—	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	264	883
法人税、住民税及び事業税	90	111
法人税等調整額	28	195
法人税等合計	119	307
四半期純利益	144	576
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△6	△10
親会社株主に帰属する四半期純利益	151	587

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	144	576
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23	63
繰延ヘッジ損益	4	△52
為替換算調整勘定	53	△183
退職給付に係る調整額	△12	△4
その他の包括利益合計	69	△176
四半期包括利益	214	399
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	220	410
非支配株主に係る四半期包括利益	△6	△10

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ビジネス プロセス ソリューション 事業	コンシューマー コミュニ ケーション事業	エネルギー事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	6,865	6,867	342	14,075	16	14,092	—	14,092
セグメント間の内部売上高又は振替高	378	77	—	456	2	458	△458	—
計	7,244	6,945	342	14,532	19	14,551	△458	14,092
セグメント利益又は損失(△)	58	164	△11	211	△13	197	△101	95

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、野菜プラント事業及びびんにくファーム事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△101百万円には、セグメント間取引消去30百万円、棚卸資産の調整額3百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△135百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ビジネス プロセス ソリューション 事業	コンシューマー コミュニ ケーション事業	エネルギー事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	6,962	6,954	297	14,214	20	14,235	—	14,235
セグメント間の内部売上高又は振替高	350	173	—	524	2	527	△527	—
計	7,313	7,128	297	14,739	23	14,762	△527	14,235
セグメント利益又は損失(△)	202	435	△25	613	7	620	△64	555

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、野菜プラント事業及びびんにくファーム事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△64百万円には、セグメント間取引消去30百万円、棚卸資産の調整額6百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△101百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	387百万円	382百万円
のれんの償却額	13百万円	－百万円